

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-97263

(43) 公開日 平成4年(1992)8月24日

| (51) Int.Cl. ⁵ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|---------------------------|------|----------|---------------|--------|
| F 2 5 B 41/00 | E | 8511-3L | | |
| F 1 6 L 41/03 | | 7127-3 J | F 1 6 L 41/02 | A |

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平3-1215

(22) 出願日 平成3年(1991)1月19日

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 考案者 西中 旭

大阪市阿倍野区長池町22番22号シャープ株式会社内

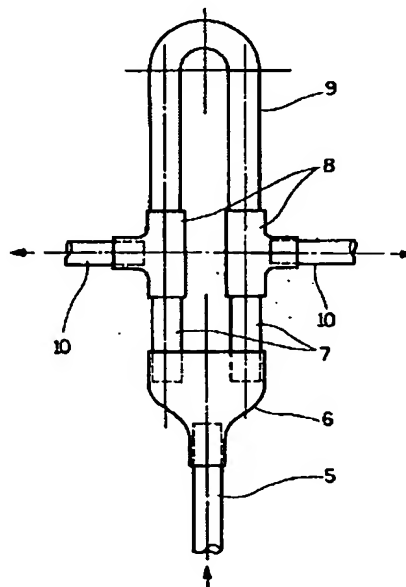
(74) 代理人 弁理士 本庄 武男

(54) 【考案の名称】 冷媒の分流器

(57) 【要約】

【目的】 冷凍サイクル装置において、簡単且つ安価な構成にて冷媒を効果的に分流させることのできる構造を備えた分流器の提供。

【構成】 通常の圧力にて分岐管6へ流入する冷媒は、例えばこの分岐管6の内部にて偏って接続管7、7へ向けて分流されても、この接続管7、7に接続された分岐管8、8の各終端側が連通されて冷媒が上記入口パイプ5側に向けて相互に帰還し得ることから、上記冷媒の偏流分は適宜補正される。



(2)

実開平4-97263

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 源流管から流入する冷媒を該源流管の軸芯に対して対称に配設された複数の分岐管へ分岐させる冷媒の分流器において、上記複数の分岐管の間に、該複数の分岐管を相互に連通させるバイパス管を上記源流管の軸芯に対して対称に配設してなることを特徴とする冷媒の分流器。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例に係る分流器の正面図。

【図2】 上記分流器を分解した状態での斜視図。

【図3】 従来の分流器の正面図。

2

【図4】 上記従来の分流器を分解した状態での斜視図。

【図5】 他の従来の分流器の正面図。

【図6】 上記他の従来の分流器を分解した状態での斜視図。

【符号の説明】

5…入口パイプ（源流管）

6, 8…分岐管

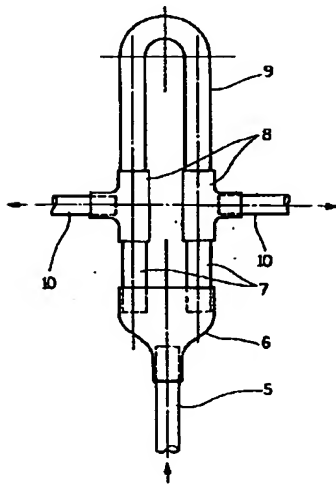
7…接続管

9…U字管（バイパス管）

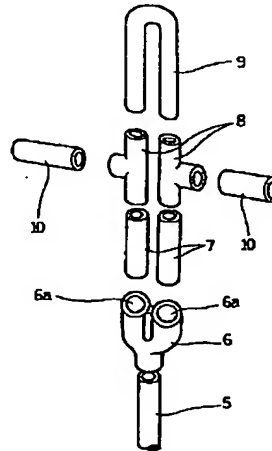
管)

10 10…出口パイプ

【図1】



【図2】



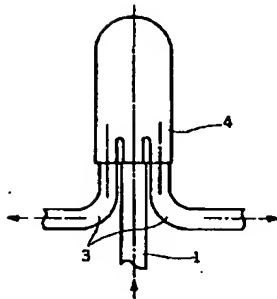
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

